© 2016 ローランド株式会社

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』と『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシ）をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

はじめに

TB-03 は、1982 年に発売された Roland TB-303 を、最新のモデリング技術によって忠実に再現したサウンド・モジュールです。コンパクトなだけでなく、電池駆動と小型スピーカーの搭載を実現。本格的な TB-303 のサウンドを、どこでも自由に楽しむことができます。

※ TB-03 は電池またには USB バス電源で動作します。電池で使用するときは、電池の向きに注意して、単 3 形電池を 4 本入れてください。

※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。『安全上のご注意』『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシ）に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。

※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

※ **電池が消耗すると、ディスプレイに「bttn」と点滅表示されます。**新しい電池と交換してください。

Boutique Dock DK-01（付属品）と組み合わせて使う

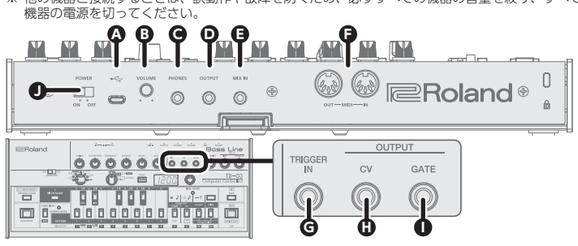
➡ 取り付け／取り外し／角度の調節については、DK-01 の取扱説明書をご覧ください。

MIDI や USB で鳴らす

TB-03 は、MIDI や USB で演奏することもできます。詳しくは「機器の接続」をご覧ください。

機器の接続

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。



A Micro USB（⇿）端子
市販の USB2.0 ケーブル（A-microB タイプ）でパソコンに接続します。
USB MIDI と USB オーディオの情報をやりとりすることができます。**パソコンに接続するには USB ドライバーをインストールする必要があります。**USB ドライバーは、ローランドのホームページからダウンロードしてください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をお読みください。
➡ **http://www.roland.co.jp/support/**
※ 充電専用のマイクロ USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

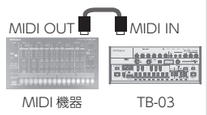
B [VOLUME] つまみ
音量を調節します。

C PHONES 端子
ヘッドホン（別売）を接続します。

D OUTPUT 端子
アンプやモニター・スピーカーに接続します。

E MIX IN 端子
オーディオ入力端子です。接続した機器の音が、OUTPUT 端子と PHONES 端子から出力されます。

F MIDI 端子
市販の MIDI ケーブルで MIDI 機器を接続すると、TB-03 と MIDI 機器を同期演奏できます。



G TRIGGER IN 端子 *1
TRIGGER OUT 端子を備えた機器（TR-09 など）を、ミニ・プラグ（モノ）のケーブルで接続します。この端子にプラグを差し込むと、TB-03 は内部クロックから切り離され、トリガー・パルスを端子から受信するタイミングで、ステップが進むようになります。

H CV OUTPUT 端子 *1
CV ／ GATE 入力端子を備えたアナログ・シンセサイザーを、ミニ・プラグ（モノ）のケーブルで接続します。
TB-03 で再生されるピッチがそのまま出力されます。-1V ～ +7V の範囲で出力します。OCT/V に対応しています（Hz/V には非対応）。

I GATE OUTPUT 端子 *1
ノート・オン／オフを出力します。ノート・オンのときに +12V を出力します。

***1**「ステレオ・ミニ・プラグ」のケーブルは使用しないでください、正しく動作しません。

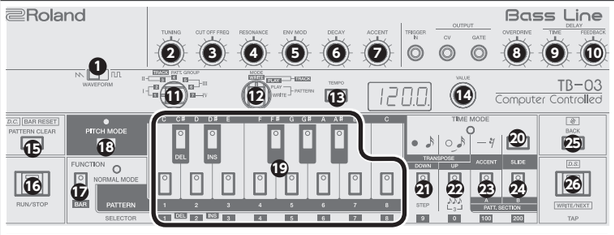
電源を入れる

J [POWER] スイッチ
電源をオン／オフします。

※ 正しく接続したら、必ず**本機→接続した機器の順に電源を入れてください。**手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。電源を切るときは、**接続した機器→本機の順に電源を切ってください。**

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

パターンの再生／録音



サウンドの調節

操作子	説明
❶ [WAVEFORM] スイッチ	⎍：ノコギリ波、⎍：矩形波
❷ [TUNING] つまみ	チューニング
❸ [CUT OFF FREQ] つまみ	フィルターのカットオフ（音の明るさ）
❹ [RESONANCE] つまみ	フィルターのレゾナンス（音のクセ）
❺ [ENV MOD] つまみ	エンベロープ・モジュレーション（音色変化）
❻ [DECAY] つまみ	ディケイ（音の長さ）
❼ [ACCENT] つまみ	パターンに入力したアクセントの強さ
❽ [OVERDRIVE] つまみ	オーバー・ドライブを調節します。左に回しきるとオフになります。 オーバー・ドライブのタイプはシステム設定で選べます。
❾ DELAY [TIME] ／ ❿ [FEEDBACK] つまみ	ディレイ・タイムとフィードバックを設定します。[FEEDBACK] つまみを左に回しきるとオフになります。 ディレイのタイプは、システム設定で選べます。 ※ リバーブ選択時は、「リバーブ・タイム」と「ドライ：ウエット」を調節します。[FEEDBACK] つまみを左に回しきるとオフになります。

パターン・プレイ

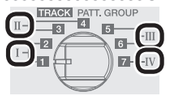
パターンとトラックとは？
1 小節を 16 ステップに分割した演奏情報を「パターン」と呼びます。
TB-03 には 96 個の「パターン」と、パターンを並べた 7 個の「トラック」があります。

パターン・プレイ・モードにする

1. ⓬ [MODE] つまみを、「PATTERN PLAY」にセットします。

パターンの選択

1. ⓫ [PATT. GROUP] つまみで、パターン・グループ（Ⅰ～Ⅳ）を選びます。
数字の 1、2 のどちらを選んでも、パターン・グループ「Ⅰ」が選ばれます。
2. ㉓㉔ PATT. SECTION［A］、［B］ボタンで、パターン・セクション（A、B、C）を選びます。
［A］、［B］ボタンの同時押しで、C を選べます（［A］［B］どちらも点灯）。
3. ⓳ PATTERN［1］～［8］ボタンで、パターンを選びます。



パターンの連続再生
パターン選択時に、2 つのボタンを同時に押すことで、複数のパターンを選択できます。選択したパターンは、連続再生されます。再生中のパターンは点滅します。

パターンの再生

1. ⓰ [RUN/STOP] ボタンで、パターンを再生／停止します。

パターン・トランスポーズ

1. ⓲ [PITCH MODE] ボタンを押しながら⓳鍵盤ボタンを押します。

テンポの設定

パターン・プレイ・モードではディスプレイにテンポが表示されます。
⓭ [TEMPO] ボタンを押すと、テンポの小数点 2 桁を表示します。
⓮ [VALUE] つまみでテンポを変更することができます。

シャッフルの設定

⓭ [TEMPO] ボタンを長押しすると、シャッフルの値が表示されます。
⓭ [TEMPO] ボタンを押しながら⓮ [VALUE] つまみを回すと、シャッフルを設定することができます（-50 ～ 0 ～ 50、0= シャッフル・オフ）。

パターンのステップ数の一時変更

⓴ [TIME MODE] ボタンを押しながら⓮ [VALUE] つまみを回すと、パターンのステップ数を変更することができます（1 ～ 16）。
※ ここでのステップ数変更は一時的なもので、保存されません。変更を保存したい場合は、「パターン・ライト」モードでステップ数を変更してください。

ステップとは？
1 つのパターンを 16 分割したグリッドを「ステップ」と呼びます。1 ステップの長さは 16 分音符（♪）です。

パターン・ライト（TB-303 オリジナル・モード）

オリジナル・モードとステップ・レコーディング・モード
TB-03 には 2 つのパターン・ライトのモードがあります。
TB-303 のパターン・ライトを再現した「オリジナル・モード」と、TB-03 で新たに追加された、「ステップ・レコーディング・モード」です。これらのモードは、システム設定の「ステップ・レコーディング・モード」で切り替えることができます。

パターン・ライト・モードにする

1. ⓬ [MODE] つまみを、「PATTERN WRITE」にセットします。

パターンの選択

➡「パターン・プレイ」の「パターンの選択」参照

テンポの設定

パターン・ライト・モードではディスプレイにステップ・ナンバーが表示されますが、⓭ [TEMPO] ボタンを押すと、テンポが 3 秒表示されます。
テンポ表示中に⓭ [TEMPO] ボタンを押すと、テンポの小数点 2 桁を表示します。
テンポ表示中は⓮ [VALUE] つまみでテンポを変更することができます。

シャッフルの設定

➡「パターン・プレイ」の「シャッフルの設定」参照

パターンの消去

1. 消去したい⓳ PATTERN［1］～［8］ボタンを押しながら⓯ [PATTERN CLEAR] ボタンを押します。

3 連符グリッドにする場合

初期値では 1 ステップ =16 分音符ですが、⓱ [FUNCTION] ボタンを押しながら㉒ [↑3] ボタンを押すと 3 連符グリッド（1 ステップ =8 分 3 連符）になります。

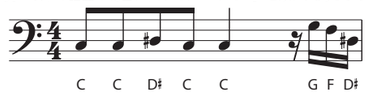
パターンのステップ数変更

1. [FUNCTION] ボタンを押しながら㉑ [STEP] ボタンを設定したいステップ数だけ押します。
例：ステップ数が 8 の場合、8 回押します。
ディスプレイにステップ数が表示されます。
※ ⓴ [TIME MODE] ボタンを押しながら⓮ [VALUE] つまみを回しても、パターンのステップ数を変更することができます（1 ～ 16）。

ピッチの入力

TB-303 オリジナル・モードでは、パターンに入力するノートは、ピッチ（音の高さ）と、タイム（タイミング）を別工程で入力します。まずピッチを入力します。

1. ⓲ [PITCH MODE] ボタンを押して、点灯させます。
ピッチ入力モードになります。
2. ⓳鍵盤ボタンを押して、ピッチを入力します。
例：以下の譜面の場合、「C、C、D#、C…」と順に入力します。



ディスプレイには入力したノートの順に番号（1、2、3...）が表示され、⓮ [VALUE] つまみで番号を選択できます。
3. ⓱ [FUNCTION] ボタンを押します。

オクターブ・アップ／ダウンしたピッチの入力
㉒ [TRANSPOSE UP] または㉑ [TRANSPOSE DOWN] を押して（または押しながら）⓳鍵盤ボタンを押すと、オクターブ・アップ／ダウンします（**点灯**：±1 オクターブ、**点滅**：±2 オクターブ）。

ピッチの確認
1. ⓲ [PITCH MODE] ボタンを押して点灯させます。
2. ㉖ [TAP] ボタンを押して、1 音ずつ音を確認します。
3. ⓱ [FUNCTION] ボタンを押します。
意図どおり入力できていない場合は、「ピッチの入力」の手順 1 からやりなおしてください。
※ ピッチを入力し直すと、アクセントとスライドの入力情報が消えますのでご注意ください。

タイム（タイミング）の入力

1. ⓴ [TIME MODE] ボタンを押して、点灯させます。
タイム入力モードになります。
2. 音符セレクター㉑ [●]（ノート）、㉒ [○]（タイ）、㉓ [—]（休符）ボタンを押して、タイムを入力します。
例：以下の譜面の場合、「●、○、●、○、…」と順に入力します。

ディスプレイにはステップ番号が表示され、⓮ [VALUE] つまみでステップを選択できます。
すべてのステップ（初期値：16 個）を入力し終わると、⓴ [TIME MODE] ボタンが消灯します。

タイムの確認
1. ⓴ [TIME MODE] ボタンを押して、点灯させます。
2. ㉖ [TAP] ボタンを押して、1 音ずつノートを確認します。
3. ⓱ [FUNCTION] ボタンを押します。
※ ⓰ [RUN/STOP] ボタンで、パターンを再生／停止しても確認できます。
意図どおり入力できていない場合は、「タイム（タイミング）の入力」の手順 1 からやりなおしてください。

アクセントとスライドの入力

1. ⓲ [PITCH MODE] ボタンを押して、点灯させます。
2. ㉖ [TAP] ボタンを押して 1 音ずつ音を確認します。アクセントを付ける場合は、㉖ [TAP] ボタンを押しながら㉓ [ACCENT] ボタンを押します。スライドを付ける場合は、㉖ [TAP] ボタンを押しながら㉔ [SLIDE] ボタンを押します。
3. ⓱ [FUNCTION] ボタンを押します。

タップ・ライト（タイミングのリアルタイム入力）

※ あらかじめ「ピッチの入力」をしておきます。

1. ⓱ [FUNCTION] ボタンを押します。
2. ⓰ [RUN/STOP] ボタンを押します。
3. ⓯ [PATTERN CLEAR] ボタンを押します。
メトロノームが鳴ります。
4. メトロノームの音に合わせて、音譜を入力するタイミングで㉖ [TAP] ボタンを押します。
※ **タイム入力：**⓳［1］～［8］のいずれかボタンを押さえながら、㉖ [TAP] ボタンをタップ。
1 小節目の書き込みが終わると、メトロノームが消えて、パターンがループ再生します。
意図どおり入力できていない場合は、手順 3 からやりなおしてください。

パターン・ライト（ステップ・レコーディング・モード）

TB-03 で新たに追加された、ステップ・レコーディング・モードです。ディスプレイのステップ・ナンバーを確認しながら、ノート、休符、アクセント、スライド／タイを入力します。

システム設定で「ステップ・レコーディング・モード」を選ぶ

1. ⓱ [FUNCTION] ボタンを押しながら⓮ [VALUE] つまみを回して、「mode」を選びます。
2. ⓱ [FUNCTION] ボタンを離します。
3. ⓮ [VALUE] つまみで、「StEP」を選びます。
4. ⓱ [FUNCTION] ボタンを押します。

パターン・ライト・モードにする

1. ⓬ [MODE] つまみを、「PATTERN WRITE」にセットします。

パターンの選択

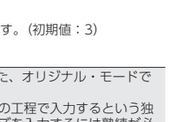
➡「パターン・プレイ」の「パターンの選択」参照

パターンの消去

1. 消去したい⓳ PATTERN［1］～［8］ボタンを押しながら⓯ [PATTERN CLEAR] ボタンを押します。

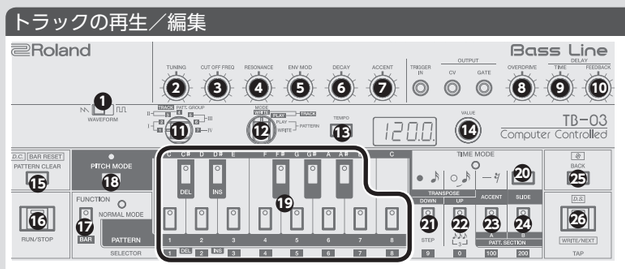
ステップ・レコーディングする

1. ⓲ [PITCH MODE] ボタンを押して、点灯させます。
ステップ・レコーディングの入力モードになります。
2. 各ボタンと⓮ [VALUE] つまみを使って、ステップに演奏情報を入力します。
ディスプレイに現在のステップ・ナンバー（*1* ～ *16*）が表示されます。⓮ [VALUE] つまみでステップを移動することができます。
※ ステップ・レコーディング中でも、⓰ [RUN/STOP] ボタンを押すとパターンを再生することができます。

操作子	説明
⓮ [VALUE] つまみ	ステップを移動します。
⓳ 鍵盤ボタン	ノートを入力して、次のステップに進みます。
㉑ [DOWN] ボタン ㉒ [UP] ボタン	オクターブ・アップ／ダウンします。 **点灯**：±1 オクターブ **点滅**：±2 オクターブ
⓴ [TIME MODE] ボタン	ボタンを押さえている間、ノート、タイ、休符を、ボタン点灯で表示します。 
⓴ + ㉒ [UP] ボタン	タイを入力して、次のステップに進みます。
⓴ + ㉓ [ACCENT] ボタン	休符を入力して、次のステップに進みます。
㉓ [ACCENT] ボタン	アクセントのオン／オフを入力します（ステップは進まない）。
㉔ [SLIDE] ボタン	スライドのオン／オフを入力します（ステップは進まない）。

3. ステップ・レコーディングを終了するときは、⓱ [FUNCTION] ボタンを押します。
※ 以下の操作は「パターン・ライト（TB-303 オリジナル・モード）」の項目をご覧ください。
- 3 連符グリッドにする場合
- パターンのステップ数変更

トラックの再生／編集



パターンを並べて 1 曲分のトラックにすることができます。

トラック・プレイ

トラック・プレイ・モードにする

1. ⓬ [MODE] つまみを、「TRACK PLAY」にセットします。

トラックの選択

1. ⓫ [TRACK] つまみで、トラック（1 ～ 7）を選びます。
ディスプレイに小節番号が表示されます。

トラックの再生

1. ⓯ [BAR RESET] ボタンで、1 小節目に戻します。
2. ⓰ [RUN/STOP] ボタンで、再生／停止します。

トラックの連続再生
トラック再生中、⓫ [TRACK] つまみでトラック（1 ～ 7）を選ぶと、トラックの最終小節（D.C. 小節）の再生後に、次のトラックが連続再生されます。

トラック・モードの機能

以下の機能は、トラック・プレイ／ライトのどちらのモードでも動作します。

小節番号を呼び出す

1. ⓮ [VALUE] つまみを回して、小節番号を設定します。

［FUNCTION］ボタンを使った小節番号の呼び出し
1. ⓱ [FUNCTION] ボタンを押したまま、数字ボタン（[1] ～ [9]、[0]、[100]、[200]）で小節番号を設定します。

設定例：

小節数	数字ボタンを押す順	表示 *1
131	[100] → [3] → [1]	**点灯：**[100]、[3]、**点滅：**[1]
55	[5] → [5]	**点灯／点滅**：[5]
101	[100] → [1]	**点灯：**[100]、**点滅：**[1]

***1** [FUNCTION] ボタンを押すと、数字ボタンが点灯／点滅して現在の小節番号を表示します。
- 10、100 桁は点灯し、1 の桁は点滅します。
- 55、33 など、同じ数字の場合は、1 拍ごとに点灯／点滅を繰り返します。

テンポの設定

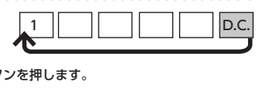
トラック・プレイ／ライト・モードではディスプレイに小節数が表示されますが、⓭ [TEMPO] ボタンを押すと、テンポが 3 秒間表示されます。
テンポ表示中に⓭ [TEMPO] ボタンを押すと、テンポの小数点 2 桁を表示します。
テンポ表示中は⓮ [VALUE] つまみでテンポを変更することができます。

シャッフルの設定

➡「パターン・プレイ」の「シャッフルの設定」参照

D.C.（ダ・カーポ／最終小節）の表示

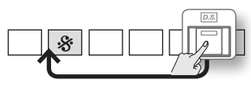
D.C.（ダ・カーポ）とは？
D.C. を設定した小節の最後まで再生したら、トラックの 1 小節目に戻ります。



1. ⓱ [FUNCTION] ボタンを押しながら⓯ [D.C.] ボタンを押します。
D.C. を設定した小節数が表示されます。

𝄋（セーニョ）の表示

D.S.（ダル・セーニョ）、𝄋（セーニョ）とは？
再生中に㉖ [D.S.]（ダル・セーニョ）ボタンを押すと、（セーニョ）を設定した小節にジャンプします。



1. [FUNCTION] ボタンを押しながら㉕［𝄋］（セーニョ）ボタンを押します。
𝄋（セーニョ）を設定した小節数が表示されます。

移調の設定の表示

再生中／停止中にかかわらず⓲ [PITCH MODE] ボタンを押すと、⓳鍵盤ボタンが点灯して現在小節の移調の設定を確認できます。

トラック・ライト

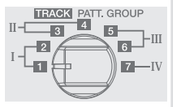
トラック・ライト・モードにする

1. ⓬ [MODE] つまみを、「TRACK WRITE」にセットします。

トラックの選択

1. ⓫ [TRACK] つまみで、トラック（1 ～ 7）を選びます。
ディスプレイに小節番号が表示されます。

トラックに書き込み可能なパターン・グループ
トラックに書き込み可能なパターン・グループは、［TRACK］つまみで選んでいるグループになります。たとえば、トラック 1 と 2 の場合のパターン・グループは「Ⅰ」になります。



トラック・ライトする

1. ⓯ [BAR RESET] ボタンで、1 小節目に戻します。
2. ⓰ [RUN/STOP] ボタンを押します。
トラック・ライト中はループ再生します。ここで再生されるパターンは、以前 1 小節目に書き込まれていたものです。
3. 1 小節目に入力するパターンを、㉓㉔ PATT. SECTION［A］、［B］ボタンと⓳ PATTERN［1］～［8］ボタンで選びます。
移調して書き込む場合は、⓲ [PITCH MODE] ボタンを押しながら⓳鍵盤ボタンを押して、移調するキーを設定します。
4. ㉖ [WRITE/NEXT] ボタンを押します。
パターンが入力され、2 小節目に進みます。
5. 手順 3 ～ 4 をくり返して、最終小節の 1 つ前まで入力します。
6. 最終小節のパターンを選びます。
7. ⓯ [D.C.] ボタンを押して、㉖ [WRITE/NEXT] ボタンを押します。
D.C.（ダ・カーポ）が入力されます。
8. ⓰ [RUN/STOP] ボタンを押して、トラック・ライトを終了します。

修正する

誤って入力した場合は、以下の手順で修正してください。

1. ⓬ [MODE] つまみを、「TRACK WRITE」にセットします。
2. 「小節番号を呼び出す」の手順で、小節番号を呼び出します。
3. ⓰ [RUN/STOP] ボタンを押します。
4. ㉓㉔ PATT. SECTION［A］、［B］ボタンと⓳ PATTERN［1］～［8］ボタンで、パターンを選びなおします。

D.C.（ダ・カーポ）の入力
⓯ [D.C.] ボタンを押すと、現在の小節に D.C.（ダ・カーポ）を入力できます。

𝄋（セーニョ）の入力
㉕［𝄋］（セーニョ）ボタンを押すと、現在の小節に𝄋（セーニョ）を入力できます。

5. ㉖ [WRITE/NEXT] ボタンを押します。
6. ⓰ [RUN/STOP] ボタンを押します。

デリート

トラック内のパターンを 1 小節削除します。

1. ⓬ [MODE] つまみを、「TRACK WRITE」にセットします。
2. 「小節番号を呼び出す」の手順で、削除小節に移動します。
3. ⓱ [FUNCTION] ボタンを押しながら⓳ [DEL]（C#）ボタンを押します。

インサート

トラックにパターンを挿入します。

1. ⓬ [MODE] つまみを、「TRACK WRITE」にセットします。
2. 「小節番号を呼び出す」の手順で、挿入したい小節に移動します。
例：4 小節を選ぶと、3 小節と 4 小節の間に挿入されます。
3. ⓱ [FUNCTION] ボタンを押しながら⓳ [INS]（D#）ボタンを押します。
4. ⓰ [RUN/STOP] ボタンを押します。
5. ㉓㉔ PATT. SECTION［A］、［B］ボタンと⓳ PATTERN［1］～［8］ボタンで、挿入するパターンを選びます。
6. ㉖ [WRITE/NEXT] ボタンを押します。
7. ⓰ [RUN/STOP] ボタンを押します。

システム設定

1. ⓱ [FUNCTION] ボタンを押しながら⓮ [VALUE] つまみを回して、パラメーターを選びます。
⓱ [FUNCTION] ボタンを離すとパラメーターが確定し、値が表示されます。
2. ⓮ [VALUE] つまみで、値を設定します。
3. ⓱ [FUNCTION] ボタンを押して、システム設定を終了します。

表示	パラメーター	値	説明
CH	MIDI チャンネル	1 ～ 16、OFF	MIDI 送受信チャンネルを設定します（1 ～ 16、OFF）。
SYnC	MIDI クロック・ソース	AUTO	MIDI IN 端子または USB 端子から MIDI クロックが入力された場合、自動的に MIDI クロックにテンポ同期します（初期値）。
		Int	本体で設定したテンポで動作します。外部機器と同期したくない場合は「インターナル」に設定します。
A.OFF	オート・オフ	OFF	自動的に電源が切れません。
		30（min）	30 分経つと自動で電源が切れます（初期値）。 ※ USB 接続時はオート・オフしません。
dEMO	LED デモ	OFF	LED デモに入るまでの時間を設定します。（初期値：3）
		1（min）	
		3（min）	
		10（min）	
ModE	ステップ・レコーディング・モード	ORG	TB-303 のパターン・ライトを再現した、オリジナル・モードです（初期値）。 ピッチとタイミング（タイム）を別々の工程で入力するという独特の概念であり、意図どおりのフレーズを入力するには熟練が必要です。複雑な操作が必要な反面、意図とは違ったグルービーなフレーズを偶然産み出すことがありますので、ぜひチャレンジしてみてください。
		StEP	TB-03 で新たに追加された、ステップ・レコーディング・モードです。ディスプレイのステップ・ナンバーを確認しながら、ノートを入力します。オリジナル・モードより容易に、意図どおりのフレーズを入力できます。初心者はこちらのモードから習得するのがお勧めです。
Od	オーバードライブ・タイプ	1	ボス OD-2 風の、ハイ・ゲインなオーバードライブ・サウンドです。
		2	オーソドックスなディストーション・サウンドです。
		3	オーバードライブの滑らかさとディストーションの深い歪みを両立させたサウンドです。
d.TYP	ディレイ・タイプ	tAPE	テープ・エコー
		d.dLY	デジタル・ディレイ
		rEv	リバーブ
d.SnC	ディレイ・テンポ・シンク	OFF	ディレイ・タイムをテンポに同期させます（初期値：オフ）。
		SYnC	

工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）

TB-03 を、工場出荷時の状態に戻します。

1. ⓳ [2] ボタンを押しながら電源を入れます。
㉖［TAP］ボタンが点滅します。
ファクトリー・リセットをキャンセルする場合は、電源を切ります。
2. ㉖ [TAP] ボタンを押して、ファクトリー・リセットを実行します。
3. すべてのボタンが点滅したら、TB-03 の電源を入れなおします。

データ・バックアップ／リストア

バックアップ

1. TB-03 とパソコンを、USB ケーブルで接続します。
2. ⓰ [RUN/STOP] ボタンを押しながら電源を入れます。
3. パソコンで「TB-03」ドライブを開きます。
「TB-03」ドライブの「BACKUP」フォルダー内にバックアップ・ファイルがあります。
4. バックアップ・ファイルを、パソコンへコピーします。
5. コピーが完了したら、パソコン上で USB ドライブの取り出しをして、USB ケーブルを抜きます。

Windows
コンピューターの「TB-03」アイコンを右クリックして「取り出し」を実行します。

Mac OS
「TB-03」アイコンをドックにあるゴミ箱アイコンにドラッグします。

6. 電源をオフにします。

リストア

1. 「バックアップ」の 1 ～ 3 の手順で、パソコンで「TB-03」ドライブを開きます。
2. 「TB-03」ドライブの「BACKUP」フォルダー内に、バックアップ・ファイルを上書きコピーします。
3. コピーが完了したら、パソコン上で USB ドライブの取り出しをして、㉖ [TAP] ボタンを押します。
4. LED の点滅が完全に終わってから、電源をオフにします。

主な仕様 ローランド TB-03：ベース・ライン

電源	充電式ニッケル水素電池（単 3 形）×4、アルカリ電池（単 3 形）×4、USB バス電源
消費電流	500mA（USB バス電源）
外形寸法	308（幅）×130（奥行）×52（高さ）mm
質量	940g（電池含む、Boutique Dock 含まず）
付属品	Boutique Dock：DK-01、取扱説明書、DK-01 取扱説明書、安全上のご注意チラシ、保証書、ローランド ユーザー登録カード、アルカリ電池（単 3 形）×4

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。